



卓球

「道内公立高校最強の卓球部」を合い言葉に練習に励んでいます。ここ数年はコンスタントに個人戦での北海道大会出場が実現し、市内強豪校の一つになりました。チーム力を高め、さらなる飛躍を期します。初心者も大歓迎ですよ！

- '18 高体連札幌支部予選 男子W
ベスト16 全道大会出場
- '18 国民体育大会卓球競技
北海道予選会出場
- '19 高体連春季大会男子団体 ベスト8
北海道卓球選手権大会
(ジュニアの部)出場(3名)
北海道高等学校選抜卓球大会出場
(個人戦シングルス 4名)

バスケットボール

- [男子]
- '19 高校新人札幌地区予選6位
全道大会出場(ベスト16)
 - '19 高体連札幌支部予選5位
全道大会出場(ベスト16)
 - '19 札幌地区春季大会5位
- [女子]
- '19 春季大会予選リーグ1位
決勝トーナメント進出
 - '19 高体連札幌支部予選 ベスト16
 - '19 選手権大会 ベスト12
 - '19 新人戦 予選リーグ2位
決勝トーナメント進出

バレーボール

- [男子]
- '16 高体連決勝トーナメント進出
 - '17 高体連決勝トーナメント進出
 - '18 高体連決勝トーナメント進出
 - '19 高体連予選グループ戦敗退
- [女子]
- '16 高体連決勝トーナメント進出
 - '17 高体連決勝トーナメント進出
 - '18 高体連決勝トーナメント進出
 - '19 高体連決勝トーナメント進出 ベスト16

バドミントン

- [男子]
- '17 春季団体戦西ブロック2部優勝 1部昇格
高体連札幌支部個人戦シングルス
3回戦進出・ダブルス ベスト16
 - '18 高体連札幌支部個人戦シングルス ベスト16
 - '19 秋季団体戦西ブロック 3部昇格、
決勝トーナメント出場
- [女子]
- '16 高体連札幌支部個人戦シングルス・ダブルス
3回戦進出
 - '18 春季団体戦西ブロック 3部昇格
 - '19 春季団体戦西ブロック 2部昇格
秋季個人戦(1年生大会)個人戦シングルス
ベスト16(2名)

野球

主体的な活動で野球の「技術・戦術」はもちろん、進路実現に向け様々な力が身につくよう努力しています。

とことん自分と仲間と向き合う。
きっと将来の糧になる。

熱中できるものがある

クローズ
アップ
2020



サッカー

- '16 全国高校サッカー選手権大会北海道大会出場
- '18 高円宮杯 U-18 ブロックリーグ 2部昇格
- '19 高校サッカー選手権大会札幌地区予選
Aブロック準優勝

「強豪校にも負けない、誰からも応援されるチーム」を目標に日々練習に励んでいます。本気でサッカーを愛するやる気のある人を歓迎します。一緒に高みを目指しましょう！

山岳

- '12 マレーシアのキナバル山(4095m)へ遠征
 - '14~'16 全道登山選手権大会参加(男女とも)
 - '19 全道登山選手権大会参加(男女とも)
- 夏合宿
- '16 五頭山(新潟)
 - '17 雌阿寒岳・ニセコラフティング
 - '18 弥彦山(新潟)

ハンドボール

男子ハンドボール部が2016年念願のインターハイ出場を果たし、それに続くとう男女後輩たちも日々頑張っています。現在の部員は96%素人集団です。「チーム西高」で充実した高校生活を送りましょう。

テニス

- [男子]
- '15 高体連全道大会 団体戦準優勝
 - '16 高体連全道大会個人戦シングルス 3位(全国大会出場)
 - '17 高体連全道大会団体戦 3位 個人戦ダブルス 3位
全国選抜高校テニス大会出場
 - '18 高体連全道大会団体戦 3位 個人戦シングルス 3位
個人戦ダブルス優勝 準優勝(全国大会出場)
 - '19 高体連全道大会個人戦シングルス 3位(全国大会出場)
- [女子]
- '16 高体連全道大会 団体戦準優勝
個人戦シングルス 3位(インターハイ出場)
新人戦全道大会 団体戦 ベスト8 個人戦ダブルス優勝
 - '17 高体連全道大会 団体戦 ベスト8
個人戦シングルス ベスト8 ダブルス 3位
新人戦全道大会 団体戦ベスト8 個人戦ダブルス ベスト16
 - '18 高体連全道大会 団体戦 ベスト8 個人戦ダブルス
ベスト8 新人戦全道大会 団体戦3位(全国選抜出場)
個人戦 ダブルス3位
 - '19 高体連全道大会団体戦、個人戦 ベスト16
新人戦全道大会団体戦、個人戦 ベスト16

陸上競技

- '17 高体連支部大会 男子走高跳 優勝
高体連全道大会 男子走高跳 3位 インターハイ出場
- '18 高体連全道大会 男子400m 準決勝進出
- '19 高体連全道大会 男子3000mSC 7位
男子4x400mリレー 準決勝進出
女子400mH 準決勝進出

ソフトテニス

- '17 高体連全道大会男子団体戦 ベスト16
高体連全道新人戦男子団体 第4位
- '18 高体連全道大会男子団体戦 ベスト8
- '19 高体連全道大会男子ダブルス ベスト32

スキー

- '10~'12 インターハイ出場(クロカン・アルペン)
 - '14 全日本スキー選手権大会出場(モーグル)
 - '15 全国高等学校選抜スキー大会出場(アルペン)
 - '15 インターハイ出場(アルペン)
 - '16 全国高等学校選抜スキー大会出場(アルペン)
- 他に基礎スキー等の部員も在籍。兼部も可能です。

剣道

- '18 新人戦全道大会女子団体出場
 - '19 新人戦全道大会男子団体出場
- 技術を上達させることも大事ですが、礼儀や挨拶をしっかりと身につけられることが何より大切だと考え、日々練習に打ち込んでいます。引退した3年生は8人中7人が初心者、1年生も3人中2人が初心者です。高校から始めても大丈夫な部活動です。

弓道

- '16 新人戦南北北海道大会女子個人 準優勝
全国大会出場
- '16 全国選抜大会女子個人 ベスト18
- '17 高体連支部大会男子個人 10位 全道大会出場
団体地区予選男子個人 3位
全道選考会出場
- '18 高体連全道男子団体 ベスト8
- '18 高体連全道男子個人 3位
- '19 高体連支部大会男子個人 8位
全道大会出場
- '19 新人戦支部大会女子個人 3位 11位
全道大会出場

水泳

今年度水泳部は3年女子3名、2年女子2名、2年男子5名、1年女子1名、1年男子1名の計12名で活動しています。練習については基本的に各自が通うスイミングスクールで行っています。昨年7月に行われた全道大会においては、女子100m/バタフライで1位と2位に、女子200m/バタフライでは3位にそして男子400mフリーリレーでは3位に入賞し計4種目6人の選手が熊本で行われるインターハイへの出場権を獲得しました。もし興味があれば是非一緒に活動してみませんか。お待ちしております。

から、西高生活は何倍も楽しい！



第23回俳句甲子園
全国高等学校俳句選手権大会
文芸部 { 須藤 野絵さん 清水 小春さん 小野寺 弘泰くん }
藤田 尚樹くん 小森 優くん 大久保 遥さん

クローズ
アップ
2020

生徒会執行委員会

西高の伝統である運動会や西高祭などの企画・運営を行っています。本校の校訓「自由・自律・睿智・創造」を生徒が実践できるよう行事を企画し、準備においてもこの校訓が実践できるように活動しています。

放送局

- 朝昼の校内放送や各種学校行事での放送機器の設置運用の他、NHKコンテストや高文連等の大会にも参加しています。
- '15~'18 NHK放送コンテスト&高文連全道大会出場
 - '17 NHK放送コンテスト朗読部門全国大会出場
みやぎ総文祭放送(朗読)部門出場
 - '19 NHK放送コンテスト全道大会(朗読部門)出場
高文連全道大会(アナウンス部門)出場CM部門準優勝

図書館

図書の貸出・返却業務はもちろんのこと、図書の展示方法の工夫、図書館報「Our Library」の編集・発行、西高祭伝統の古本市開催などを行っています。

- '19 高文連全道高校図書研究大会(札幌)参加

新聞局

『札幌西高新聞』を編集・発行します。北海道で初めて高校生新聞の縮刷版を発行した、歴史と伝統のある新聞局です。生徒の「知る権利」を代行して報道し、学校の歴史と生徒の活動を記録し、学校をよりよくするための問題提起や提案を心がけています。

- '19 全道高等学校新聞研究大会(岩見沢)参加

化学

- '17 高文連全道大会 総合賞3件 日本化学会支部奨励賞
- '18 高文連全道大会 総合賞 優秀ポスター賞
日本化学会北海道支部 奨励賞
- '19 高文連全道大会 総合賞 奨励賞2件
日本化学会北海道支部 奨励賞
日本学生科学賞読売新聞社賞

それぞれが自分の研究テーマを持ち、自分のペースで自由に研究を行っています。化学実験が好きなら誰でも歓迎します。楽しみながら自らを高めていきましょう。

邦楽

琴、三弦、尺八など、和楽器による合奏を楽しむことが活動の中心です。令和元年度も全道大会に出場します。近年は、日本の伝統文化をつづいた国際交流などにも力を入れています。部員の大部分は初心者、楽器も部で用意しますから、誰でも安心して入部できます。

軽音楽

西高祭での演奏や輔仁会館等でライブ活動を行っています。

写真

最近では、デジタル写真中心で活動中です。学校行事や普段の高校生活を撮影し高文連写真展、学生写真道展、写真甲子園などに応募するのが主な活動です。西高祭ではフォトスタジオにも挑戦しました。

合唱

音楽を楽しむをモットーに、自分たちの好きな曲をアカペラにアレンジして歌っています。新入生歓迎会と西高祭、クリスマスコンサートでの発表の他、定期的にアトリウムコンサートを行ったりしています。

書道

高文連石狩支部大会・全道大会と全道学校書道展、北海道学生書道展覧会の三つの書道展に出品する臨書作品の制作を中心に活動。夏休みに百名以上が参加する5校合同定山溪合宿錬成会も恒例。

- '19 高文連全道大会 道高文連賞(全国へ)

物理研究

- '17 第41回全国高等学校総合文化祭(みやぎ総文2017)出場
日本物理学会Jrセッション(全国大会) 奨励賞
- '18 第42回全国高等学校総合文化祭(信州総文祭2018)出場
- '19 3月 第15回日本物理学会Jrセッション(全国大会)出場
研究テーマは電巻、逃げ水(気圧梗)、超伝導など…
北海道大学へ行って測定の協力を仰ぐこともあれば、
科学の祭典で小さな子供たちに遊び心いっぱいの実験を指導することもあります。

演劇

- '15 高文連石狩支部演劇発表大会 最優秀賞
全道高等学校演劇発表大会 奨励賞
- '16 高文連石狩支部演劇発表大会 優秀賞
- '17 高文連石狩支部演劇発表大会 最優秀賞
全道高等学校演劇発表大会 優良賞、創作脚本奨励賞
- '19 高文連石狩支部演劇発表大会 優良賞、創作脚本奨励賞

オーケストラ

- '16 全道高等学校音楽発表大会出場(最優秀賞受賞)
- '17 全国高等学校総合文化祭出場
入学式、卒業式、高文連主催の演奏会、西高祭でのコンサートとレストランの出店、夏季合宿、定期演奏会、屋休みコンサート、校外における演奏活動。
プログラム、チャイコフスキーなどの名作を高校生
の若い力で。

華道

いけ花池坊を部活動指導員の方から教えていただきます。毎週1回、季節を感じ、心を花に託して表現する楽しさを味わいます。希望者はお免状を取得することもできます。

文芸

「言葉をつむぐ、言葉でつなぐ」私たちは、そんな活動をしています。小説を執筆するのはもちろん、最近では俳句に挑戦し、十七音の世界を楽しむようにもなりました。自分一人で作品の質を高めるのは難しいですが、部内や大会の合評の場で相互にアドバイスするので、表現を客観的に見つめ直すことができ、成長を実感できます。年四回発行する部誌は、印刷や製本を全員で行うこともあり、完成した時は達成感に包まれます。ぜひ、一緒に言葉の世界を堪能しましょう！

- '18 高文連全道大会 俳句部門 優秀賞
第33回全国高等学校文芸コンクール 小説部門 入選
- '19 高文連全道大会 部誌部門 最優秀賞(全国へ)
俳句部門 優秀賞2名、優良賞1名
第22回全国高校俳句選手権大会 参加

美術

- 平面(油彩、水彩、イラスト他)、立体(彫刻、工芸他)問わず、何でも制作しています。
- '15~'16 全国高等学校総合文化祭参加
 - '17 高文連全道入選3名 全道優秀賞1名
 - '18 高文連全道入選2名 全道優秀賞1名
U21道展入選1名 奨励賞1名
 - '19 高文連全道入選1名
U21道展入選6名 優秀賞1名 奨励賞2名

鉄道研究

- 合宿と野外活動を年に数回行い、道内外の様々な路線に乗り回しています。西校祭では鉄道模型ジオラマを展示しNゲージ車両を走行させます。
- '16 室蘭への日帰り活動
 - '17 新十津川への日帰り活動
 - '18 小樽への日帰り活動、東京ビッグサイト鉄道模型コンテスト2018参加
 - '19 「秘境駅」小幌への日帰り活動

囲碁・将棋

- 現在の西高囲碁将棋部は全国大会に進出する生徒がいて、活気にあふれています。すこしでも興味をもったら、ぜひ3階第三部室まで足を運んでください。特に女子は3人揃えば全国大会もすぐそこです。先輩部員が懇切丁寧に指導してくれますよ！
- '19 全道将棋選手権大会(札幌)男子団体戦 優勝 全国大会出場!
全道囲碁選手権大会(函館)男子個人戦 準優勝 3年連続全国大会出場!

マンガイラスト

主な活動は校内での部誌の配布や展示。冊子などの挿絵の依頼に応じて出品しています。

茶道

講師の先生の指導のもと、お点前のお稽古をしています。西高祭のお茶会には大勢のお客様が来てくださり、長蛇の列ができる人気ぶりです。本格的なお茶室も、一見の価値あり。卒業までには裏千家の初級の許状がいただけます。

Dance同好会

踊りの創作活動を通して、リズムカルに動ける体作りを目指し、表現性・感受性を豊かにし、社会性・協調性を養うことを理念としています。平日は週1回ベース、西高祭前は連日ハードに練習。例年、新入生歓迎会のステージ発表や西高祭オープニングステージ発表・有志発表に出演しています。

映画研究同好会

映画鑑賞後、その映画についての批評を行うことが活動の中心です。